

自己点検・評価報告書

(令和7年度事業分)

令和8年8月

松浦市教育委員会

※留意点

- 本報告書中の「評価」については、A…達成している、B…概ね達成している、C…達成していない、としています。
- 本報告書中の「教育委員会」とは「狭義の教育委員会(教育委員の合議体)」を意味します。

1 教育委員会及び教育委員の活動について

項 目		評価	活動内容 等
(1) 教育委員会会議の運営	① 会議の開催回数	A	○定例会を12回、臨時会を1回、計13回開催した。
(2) 市長との連携		A	○市長が設置した総合教育会議において、本市教育の現状等について意見交換を2回行った。 第1回「ながさきピース文化祭2025」を今後どのように活かしていくか ～ピース文化祭を契機に教育振興基本計画をどのように推進していくか～ 第2回「教育のまち 松浦」をつくるための取組について
(3) 教育機関等との連携	① 学校への訪問	A	○R8.1.23、福島養源小学校を訪問し、当校で開催された松浦市教育委員会指定研究発表会において、かかる授業参観と研究発表に参加した。 ○入学式、卒業式、運動会や学習発表会などの学校における諸行事、その他、各委員それぞれ機会を捉え、各学校を訪問した。
	② その他施設への訪問	A	○長崎県立松浦高等学校との意見交換会「松高みらい教育懇話会」に年2回、参加していたが、R7年度から学校運営協議会へ移行。 ○鷹島学校給食共同調理場内覧会5/28、新鷹島学校給食共同調理場試食会8/6 その他、学校主催や教育委員会共催及び後援等の研修会や大会・研修の折、各委員それぞれ、その他施設を訪問した。
(4) 教育委員の自己研鑽		A	○長崎県都市教育長協議会(4回開催、4/17・18長崎市、7/17・18五島市、11/10平戸市、1/29・30長崎市) ○教育委員会連合会理事会(4/23、佐世保市) ○全国都市教育長協議会(5/15・16埼玉県川越市) ○九州地区教育委員会連絡協議会研修会(8/21・22大村市) ○九州都市教育長協議会(飯塚市10/16・17) ○九州都市教育長協議会理事会(長崎市1/29・30) ○長崎県市町村教育委員会連絡協議会総会(5・27佐世保市)

2 教育委員会が管理又は執行する事務について

項 目	評価	活動内容 等
(1) 教育振興基本計画の推進	A	○第3期教育振興基本計画(R7～R11)の情報発信・広報活動 ・松浦市ホームページ及び市報への掲載 ○計画推進に必要な予算の確保
(2) 学校教育又は社会教育に関する一般方針を定めること	A	○令和7年度松浦市教育方針及び松浦市教育努力目標(R7. 3. 25 3月定例会で議決)
(3) 県費負担教職員の懲戒及び県費負担教職員たる校長の任免その他進退について内申すること	A	○教職員の人事内申に係る決定(R8, 2. 24 第1回臨時会で議決)
(4) 教育委員会規則の制定又は改廃を行うこと	A	○規則・規程・要綱の制定改廃議案…10件 【制定】2件 【改正】8件 ・松浦市奨学基金条例の一部改正 ・松浦市立学校給食共同調理場の設置及び管理に関する条例の一部改正 ・松浦市地域クラブ認定要綱の制定 ・松浦市立小中学校の通学区域に関する規則の一部改正 ・松浦市地域クラブ創設等支援補助金交付要綱の制定 ・松浦市小・中学校適正配置準備委員会設置要綱の一部改正 ・松浦市体育施設等サポーター制度実施要綱の一部改正 ・松浦市立埋蔵文化財センターの設置及び管理に関する条例の一部改正 ・松浦市児童生徒等就学援助事務取扱要綱の一部改正 ・松浦市学校給食費条例施行規則の一部改正
(5) 教科用図書の採択に関すること	—	○教科用図書の採択に係る執行なし

3 学校教育の環境整備に関する事務

項 目	評価	活動内容 等
(1) 学校施設整備の推進	① 学校施設長寿命化計画の進捗管理	B ○計画の推進に向け、関係課や学校と連携・協力しながら、施設の劣化状況の適格な把握や学習活動への適応状況などの実態把握を行った。今後の小・中学校適正配置基本計画内容を踏まえたうえで、適切な改修時期やコンパクト化を検討し、計画の見直しを図らなければならない。
	② 学校施設長寿命化計画に沿った学校施設の整備	B ○鷹島学校給食共同調理場改築事業 ・調理場改築 206,015千円 令和7年度 2学期より共用開始 ○小中学校2校屋内運動場照明のLED化事業 ・志佐小学校屋内運動場照明設備LED化 2,035千円 ・鷹島中学校屋内運動場照明設備LED化 4,004千円 ○小中学校防犯カメラの整備事業 ・小学校 7校 設置 44,986千円 ・中学校 4校 設置 28,838千円 ○小学校トイレ改修事業(トイレの洋式化) ・調川小学校 4,785千円 洋式化率12.9%→52.2% ・今福小学校 6,325千円 // 30.2%→75.0%
	③ 学校施設・設備に関する定期的な現地ヒアリングの実施	A ○予算編成時に各学校を巡回してヒアリング等を行い、緊急性・実効性の評価判断に即した予算配分の実施に努めた。 ・当初予算作成のため、全小中学校の現地視察、聞取りを行った。
(2) 学習環境整備の推進	① GIGAスクール構想の円滑な実施のための環境整備	A ○統合型校務支援システム運用経費 8,770千円 (内訳) ・統合型校務支援システム使用料 4,730千円 ・運用に係る保守料 264千円 ・回線使用料等諸経費 1,186千円 ・資産管理ソフトライセンス利用料 1,847千円 ・ウイルス対策ソフトライセンス利用料 743千円 ○ICT整備事業 69,439千円 (内訳) ・小学校44,477千円、中学校24,962千円 ・学習用コンピューター式 小学校 581台 34,511千円 中学校 326台 19,364千円 計 907台 53,875千円 ・電子黒板・電子黒板用パソコン一式

項 目		評価	活動内容 等
			小学校 16台 9,258千円 中学校 9台 5,041千円 計 25台 14,299千円 ・ファイルタリングソフト利用料 小学校 16台 708千円 中学校 9台 557千円 計 25台 1,265千円
	② 更新計画に沿った電子機器(電子黒板、学習用端末・デジタル教科書等)の整備	A	○令和8年度に向けた児童・生徒用タブレット更新計画のため、学校との調整や財政部局との予算協議を行った。
(3) 安全・安心な学校給食の提供	① 食物アレルギーによる事故件数0件の継続	A	○食物アレルギーについては、代替食等による対応を実施しており、年間を通じて事故報告なし。食物アレルギー対応マニュアルに則り、万全な対応をしている。 R7年度アレルギー対応者:除去食・代替・牛乳中止等 松浦中央:16人、福島:2人、鷹島:2人
	② 調理場における異物混入等による事故件数0件の達成	A	○異物混入等による事故件数0件。 ・学校への配食後に異物混入が確認されたものは、7件(松浦中央4件、福島2件、鷹島1件)であった。調理場で混入したことが確認できたものもあるが、いつ混入したのか不明なものが多くある。児童生徒の誤飲による身体への影響(事故)はなかった。
(4) 教育委員会・総合教育会議の円滑な運営	① 教育委員会(定例会・臨時会)の審議活性化に向けた調査・研究の実施	A	○毎月の定例会及び臨時会の円滑な実施に努めた。 ・開催場所については、市役所等のほか、鷹島公民館、福島支所などで実施した。 ・会議録を速やかに作成し、ホームページに掲載。会議内容の周知に努めた。
	② 総合教育会議(年2回)の審議活性化に向けた調査・研究の実施	A	○「教育のまち 松浦」の確立に向けて、第1回は、「ながさきピース文化祭2025」を今後どのように活かしていくか〜ピース文化祭を契機に教育振興基本計画をどのように推進していくか〜を協議し、第2回は、「教育のまち松浦」をつくるための取組について、学校・地域・家庭の連携と大人が手本を見せることの重要性を再確認し、「あいさつで心かよう松浦」、「奉仕活動で心みがく松浦」の啓発を継続的に行うための方法等について協議した。

4 学校教育の推進に関する事務

項 目		評価	活 動 内 容 等
1 確 かな 学 力 の 育 成	(1)「主体的・対話的で深い学び」の実現による児童生徒の学力の向上	B	○「授業内容がよく分かる」の回答割合 (R7全学調質問紙調査、()内は前年度) 〔小学校〕国語 82.2(85.0) (-2.8)、算数 81.1(80.2) (+0.9) 〔中学校〕国語 78.0(85.6) (-7.6)、数学 56.5(70.7) (-14.2) ・小学校算数は、前年度を上回ったが、中学校数学は大きく下回っている。 ・市教育基本計画の目標値(85%)については、中学校国語において達成できた。その他については授業改善を図る必要がある。 ○松浦市学力調査の同一集団経年比較における前年度より向上した学年を有する学校数 〔小学校〕国語 9校/9校、算数 9校/9校 〔中学校〕国語 6校/7校、数学 6校/7校 ○学校指導訪問A訪問の実施 ・鷹島小(9月)、今福中(10月)、御厨中(11月)3校への学校指導訪問を実施し、教科指導力及び授業改善について、教科指導員による直接指導を行った。 ○毎月の市校長研修会、市教頭研修会において、校内研究の充実及び授業改善の推進を指導した。また、児童生徒の学びを支える学級の支持的風土の醸成及び安全安心な学級づくりについても指導を行った。 ○市研究主任研修会を年2回開催し、各校での学力向上対策の質の向上について指導を行った。
		B	○「平日1日あたり何時間勉強をしますか」における「30分未満」の回答割合。 〔小6年〕13.8% (20.4%) 〔中3年〕22.0% (23.8%) ・中学3年生は4～5人に1人が30分未満。引き続き指導改善を要する。 ○「分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできている」の回答割合。 (以上、R7全学調質問紙調査、()内は全国値) 〔小6年〕74.4% (81.7%) 〔中3年〕67.5% (77.5%) ・主体的な学びに向かうための学び方の指導が必要。
	(2)ICT環境を活用した教育活動の充実	B	○「ICT機器・デジタル教科書を活用して授業を行うことができる教師の割合」(R7情報化実態調査より、()内は前年度) 〔小学校〕87.3%(86.6%) 〔中学校〕87.5%(94.4%) ・1人1台タブレットや電子黒板を活用した授業が増えた。 ・不登校児童生徒等を対象とする遠隔授業も実施されている。 ・家庭学習でのタブレット活用した予習型授業の研究も推進されている。
	(3)小中学校9年間を通した外国語教育の充実	B	○「CEFRのA1レベル相当以上の英語力をもつ中学3年生の割合」(公立中学校英語教育実施状況調査、()は前年度) 32.3%(32.6%) ※CEFR A1レベル相当=英検3級相当 ○「授業において発話の半分以上を英語で行う教員の割合」(公立中学校英語教育実施状況調査) R7 調査なし ・英語科担当教員に対する研修会等の積極的受講を指導、市独自の研修会の実施 ・授業を中核とした研修の充実及び授業改善の推進

項 目			評価	活 動 内 容 等
2 豊 か な 心 の 育 成	(1)道徳教育の推進(「生命尊重」の指導、「考え・議論する」道徳科の充実)		A	○「自分にはよいところがあると思う(自己肯定感)」の肯定的回答 〔小学校〕 85.6%(85.0%)、〔中学校〕 88.5%(80.6%) ○「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う(承認)」の肯定的回答 〔小学校〕 95.5%(89.8%)、〔中学校〕 90.0%(92.5%) ○「道徳の授業では自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか」の肯定的回答 〔小学校〕 93.3%(94.0%)、〔中学校〕 94.2%(95.1%) (以上、R7 全学調質問紙調査、()は前年度) ・いずれも約8割～9割が肯定的回答であり、全体として前年度と同程度または向上傾向にある。 ○「長崎っ子の心を見つめる」教育週間の実施校数 (16/16 校) ・生命尊重に関する校長講話 ・道徳科授業の外部公開 ○市内一斉のオープンスクールの実施(6 月～3月) ○松浦市子ども議会の開催(令和7年 8 月1日) ・市内全中学校7校の参加。各校代表者が、住み続けたいまちづくりについて意見を述べた。
	(2)ふるさと教育・体験活動の充実(非認知能力の育成、キャリア教育の推進)		A	○「ふるさと教育」年間計画に基づく実施校数 16/16 校 ・中学校区ごとの7年間(小3～中3)を見通した「総合的な学習の時間の『ふるさと教育』年間指導計画」に基づく実施 ○「キャリア教育」の実施校数 16/16 校 ・中学校職場体験学習の実施校数 7/7校
	(3)読書を通じた有用性(言語力・知識・感性・表現力・想像力)の向上		A	○「家庭における読書の働きかけ」に取り組む学校数 16/16 校 ○「魅力ある学校図書館づくり」に取り組む学校数 16/16 校 ○「図書標準冊数」蔵書率 107.7% (93,292 冊)
3 健 や か な 体 の 育 成	(1)健康・安全教育の徹底	①健康・安全に対する自己管理能力の育成と自己肯定感を高める指導の充実	A	○「食育を学校行事の中で行っている」学校数 11/16 校= 68.8% (R7 学校運営調査より) ○「食育を地域との関わりの中で行っている」学校数 13/16 校= 81.3% (R7 学校運営調査より) ○「15 歳児の永久歯のう歯保有者の割合」 35.29%(前年度 34.68%) (R7 学校保健統計調査より) ・食育はいずれも前年度並み。 ・う歯保有者数は前年度並み。 ○通学路安全マップの活用校数 9/9校 ○交通安全指導、水難防止指導の実施校数 16/16 校 ○避難訓練(火災・地震等想定)の実施校数 16/16 校 ○通学路安全プログラムによる合同点検の実施小学校区〔R7 点検地区〕調川小、今福小、志佐小、上志佐小学校区

項 目			評価	活 動 内 容 等
3 健 や か な 体 の 育 成	(1)健康・安全教育の徹底	②リーフレット「松浦っ子のよりよい成長のために」の活用	B	○「朝食を毎日食べている」児童生徒の割合(R7 全学調「質問紙調査」、()内は前年度) 〔小学校〕 88.9%(95.2%) 〔中学校〕 90.6%(91.9%) ・小、中学校ともに市基本計画R11年度目標値(95%)に向けて啓発を行う。 ○「携帯電話やスマートフォンの取り扱いについての指導、啓発している学校数」 16/16校=100% ○リーフレット「松浦っ子のよりよい成長のために」の活用校数 16/16校=100% ○松浦市学校保健大会の開催(令和7年11月15日) ・参加者約 100人 ・講演会「レジリエンスを育む子育て」 (長崎県立大学 臨床心理士・公認心理師 伊藤勢津子氏)
	(2)体育及び武道指導の充実 ①年間を通した児童生徒の体力向上の取組と運動習慣の定着		A	○市中体連球技・武道大会、陸上競技大会、駅伝大会、小学校陸上競技大会の実施 ・県中総体成績上位者九州大会への出場 陸上2名、水泳1名、卓球団体1校、卓球個人1名 ・全国大会への出場 陸上2名 ○各校の運動会、体育大会の実施 ・昼食有りの学校 15/16校 ○体育の授業改善「アクションプラン」作成 (16/16校) ・体力向上、運動習慣の機会拡充 ○「なぎなた指導者スペシャリスト」事業の実施 ・「なぎなたのまち松浦」の啓発、推進 ○「なぎなた指導者講習会」の実施 ・中学校保健体育科担当者を対象に実施(夏季休業中) ○部活動休養日の週2日以上実施している運動部(100%) ○部活動時間(平日2時間程度、土・日曜日3時間程度)を適切に実施している運動部(100%)
4 児 童 生 徒 の 学 び を 支 え る 学 校 づ く り の 推 進	(1)児童生徒が安心して学ぶことができる支持的風土のある学級づくり	①合意形成(折り合いの付け方)を学ぶ「話し合い活動」の充実	A	○「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気づいたりすることができる」児童生徒の割合(R7 全学調「質問紙調査」) 〔小学校〕 85.5%、〔中学校〕 82.7%
		②リーフレット「STOP the 不登校」活用	B	○R7年度的全児童・生徒数に対する不登校の割合〔()内は前年度〕 〔小学校〕 7人(前年度11人)0.8%(-0.3) 〔中学校〕 33人(前年度34人)6.0%(増減なし) 〔全 体〕 40人(前年度45人)2.7%(-0.2) ・昨年度比、特に小学校において改善傾向 ○小学校高学年の教科担任制導入の促進、啓発 ○リーフレット「Stop the 不登校」の活用校数(16/16校)
	(2)子どもの心と向き合う教育相談の充実		A	○「いじめ問題の解消率」93.7% (R7年度認知分) ○ステップ子育て相談会の実施(年3回) ○スクールカウンセラー(県派遣5人、市1人)6人の中学校7校(小学校はエリア校)への配置 ○スクールソーシャルワーカー配置事業の活用(県派遣2人) ○小学3年、中学1年の児童生徒対象の全員面談の実施

項 目		評価	活 動 内 容 等
4 児童生徒の学びを支える学校づくりの推進	(3)特別な配慮を要する児童生徒への支援体制の充実	A	○5歳児健診からの就学支援 ・子育て・こども課との連携による就学支援 ・幼稚園、保育所等の訪問実施 ・就学前の保護者との面談及び就学支援 ・就学前の個別の教育支援計画の作成と小学校へ引継ぎ ○「個別の教育支援計画」作成率 〔就学前〕100%〔就学後〕100% ○通級指導教室の設置及び充実 〔小学校〕御厨小、志佐小、調川小、福島養源小の4校に設置 ・市内小学校8校から、児童 64人(R6年 64人)が通室 ・学習支援や特性に応じた効果的な指導ができた。 〔中学校〕御厨中、志佐中の2校に設置 ・市内中学校6校から、生徒 31人(R6年 30人)が通室 ・学習支援や特性に応じた効果的な指導及び進路、進学先に応じた支援ができた。 ○教育支援員の配置及び充実 ・特別支援教育支援員を24人配置 〔配置率〕24/24人=100%※配置率=現員数/配置要望数 ・学校からの情報収集(児童生徒の特性や教育支援員要望数他)を行い、適正な配置に努めた。 ・学校指導訪問において教育支援員の配置効果(対象児童生徒の生活上の安定及び全般的な変容)等を確認 ・教育支援員研修会の開催(年1回)による資質向上 ○指導教諭の活用(研修会、学校訪問)
5 教職員の資質の向上	(1)「長崎県 教員等としての資質向上に関する指標」を踏まえた資質の向上	A	○「長崎県 教員等としての資質向上に関する指標」の活用 ・校長研修会、教頭研修会、中堅教員研修会他 ○大学教授を講師として招聘し教職員研修会を実施 ・授業づくり研修会(英語科担当教員研修会) ○学習指導要領の浸透と教職員の資質向上 ・授業づくり研修会の充実(若手教員の育成) ・学校訪問における授業視察、校内研究会への指導主事派遣 ・県及び県教育センター主催の研修会等の受講促進 ・中央研修への教職員の計画的派遣
	(2)全ての教職員に求められる特別支援教育に関する専門性の向上	A	○新たな人事評価制度における校長面談を通した指導 ・学校経営における特別支援教育の推進 ・個別の支援を要する児童生徒への組織的対応 ・特別支援教育コーディネーターの活用 ・校内教育支援委員会開催 ○特別支援教育の研修会の充実と関係機関との連携 ・市特別支援教育コーディネーター連絡協議会他 ・県立佐世保特別支援学校及び各種関係団体との連携
	(3)勤務時間の上限に関する方針に基づく働きがい改革の推進 ①統合型校務支援システムの運用促進	B	○「松浦市立学校の教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画」の活用 ○1か月あたり80時間超過勤務教職員数 延べ39人 (R6年度37人) ※延べ39人(中学校3校11人、小学校0校0人) ・全体的に超過勤務者(45時間超を含む)は減少傾向 ・1か月あたり80時間超過勤務ゼロを目指した教職員指導 ・ノ一部活動デー、部活動休養日、定時退勤日の完全実施 ・在校等時間の自己管理にかかる教職員の意識改革 ○教職員ストレスチェックの実施(年2回)

項 目		評価	活 動 内 容 等
6 学 校 ・ 家 庭 ・ 地 域 の 連 携 ・ 融 合 の 強 化	(1)コミュニティ・スクールの充実と推進	A	○コミュニティ・スクール・地域学校協働本部の設置 [設置校数] 9/16校 ※R2 上志佐小学校、R3 福島養源小学校・福島中学校 R4 鷹島小・鷹島中学校、R4 調川小・調川中学校 R5 今福小・今福中学校 ○地域・保護者と連携した学校行事等の充実 ・地域の「ひと もの こと」を活用した行事 ○市内一斉「みんなでオープンスクール」の再開(6月～3月) ・R7来校者数 市内15校延べ 3,998 人
	(2)校種間及び関係機関の緊密な連携(幼保、小、中、高、子育て・こども課)	A	○松浦市幼保小連携推進協議会設立に向けた取組 ・県幼保小連携推進協議会担当者会の開催(R7. 7. 7) ・市幼保小連携推進協議会議の開催(R7.5.30、R8.2.6) (協議会の組織編成、設置要綱策定についての協議) (協議会構成員についての検討) ○小、幼保連携による行事(入学体験・説明会)の充実 ○入学時の「つなぎサポート会議」の実施
	(3)少子化に対応した活力ある学校づくり、部活動改革の推進	A	○第2次松浦市小・中学校適正配置基本計画(案)の策定 ・基本計画案策定及び議会への説明 ○部活動地域展開についての地域説明会の実施 ・地域クラブの立ち上げのための支援

5 社会教育の推進に関する事務

項 目	評価	活動内容等
(1) 自ら求め、学び合う心を培う生涯学習の推進 ① 生涯学習体制の充実	A	○社会教育委員会を1回開催した。 ○まつうら出前講座ボランティア編への講師募集を行い、16件の登録があった。 ○まつうら出前講座において、ボランティア編10件(299人受講)、行政編77件(1,401人受講)の活用があった。 ○公民館運営審議会を1回開催した。 ○市ホームページ等において、イベント、講座をはじめとした社会教育・スポーツに関する各種情報を周知した。 ○郷土誌編さん事業には、現在、取り組んでいない。
② 生涯学習施設の整備	A	○社会教育施設(文化会館、公民館8館、図書館2館、少年センター、勤労青少年ホーム)の適切な管理運営に努め、必要な事業(工事、修繕、委託等)を実施した。 主なもの ・松浦市文化会館 吸収冷温水機高温胴取替修繕 ・松浦市文化会館ロビートイレ(女性)ブース・便器取替修繕 ・生涯学習センター通路施設改修 測量・設計業務委託 ・東部交流センター 放流ポンプNO.2取替修繕 ・星鹿公民館事務室空調機取替修繕 ○自治公民館補助金を7地区へ交付した。 ○コミュニティ助成事業助成金を2地区へ交付した。
③ 生涯学習機会の提供	A	○各公民館において、各種主催講座を開催した。(地域子ども教室を含む。) ・中央公民館 94回、1,826人 ・今福公民館 66回、1,028人 ・調川公民館 100回、1,330人 ・上志佐公民館 56回、488人 ・御厨公民館 86回、1,757人 ・星鹿公民館 89回、1,208人 ・福島公民館 110回、1,719人 ・鷹島公民館 67回、655人 計 668回、10,011人 ○各公民館において、公民館まつり等を開催した。 ○各公民館だよりを毎月発行した。(市ホームページにも掲載) ○各公民館の利用状況

項 目		評価	活動内容等
			・中央公民館 2,870 回、17,818 人 ・今福公民館 1,507 回、10,748 人 ・調川公民館 1,156 回、6,717 人 ・上志佐公民館 431 回、5,355 人 ・御厨公民館 529 回、9,018 人 ・星鹿公民館 327 回、7,019 人 ・福島公民館 436 回、3,523 人 ・鷹島公民館 431 回、5,619 人 計 7,687 回、65,817 人 ○二十歳の式を挙行し、二十歳人（はたち～ず）238 人のうち 172 人が出席した。（出席率 72.2%） ○北海道鷹栖町、北海道福島町、長野県木曽町との相互交流事業を実施した。 ○国際教育・活動支援員 1 人を任用し、市民の国際交流、国際教育活動を支援した。 ○松浦・マッカイ ビル・モロイ杯 English スピーチ・コンテストを開催した。 ○オーストラリアデー・イベントを開催した。 ○市国際親善協会への支援（補助金交付）を行った。 ○市国際親善協会の事務局業務を担った。 ・姉妹都市マッカイ市との青少年使節団の相互派遣事業を昨年に引き続き、松浦市民親善訪問団の派遣を 7 年ぶりに実施した。 ・市内の小学 5・6 年生を対象とした English Day Camp を開催した。 ・会員と会員家族、友人を対象とした English Day 及び世界のクッキング講座を開催した。 ・市民を対象とした英会話教室を開講した。 ・市内外の ALT を対象に日本語ボランティア活動を行った。
	④ 図書館運営の充実	A	○令和 7 年度末の蔵書数 市立図書館 137,311 冊 福島図書館 27,485 冊 ○令和 7 年度末の貸出冊数 市立図書館 86,359 冊 福島図書館 2,715 冊 ○令和 7 年度末の入館者数 市立図書館 28,471 人 福島図書館 2,022 人 ○図書館協議会の開催 2 回（8/7、2/19） ○研修会への参加 ・令和 7 年度第 1 回地域日本語教育推進事業担当者会議 5/12 2 人参加 ・令和 7 年度長崎県公共図書館等協議会総会 6/30 1 人参加

項 目	評価	活動内容等
		・第1回図書館実務研修会 7/7 4人参加 ・西九州させば広域都市圏図書館相互スキルアップ事業 2/14 2人参加 2/23 実施 7人参加 (職員2人 ボランティア5人) ・第2回図書館実務研修会 2/16 5人参加 ○図書館だよりの発行 (毎月) (市ホームページにも掲載) ○市ホームページ、フェイスブック、NBCデータ放送での図書館に関する各種情報の周知 ○図書館ボランティアの登録状況 ・団体 5団体 ・個人 14人 ○ボランティア団体との協働による読み聞かせや図書館運営の充実 (数字はボランティアの参加数) 【市立図書館】 ・乳幼児から児童を対象とした図書館での読み聞かせの実施 (ボランティア 約4組/月) ・市民読書の日に配布する図書館利用促進カード、しおりの作成 ・図書館主催イベントでの運営補助 ・蔵書点検 2/17～2/28 2人 ・おとまり読書会 i n としょかん 7/26～7/27 1人 ○本や図書館に興味を持たせる為の企画・行事の実施 【市立図書館】 ・乳幼児から児童を対象とした図書館での読み聞かせの実施 (48回 参加者のべ223人) ・こどもの読書週間イベント 4/23～5/12 - みんなで絵本こいのぼりをつくろう 34名 - 松浦のお魚カード釣り 125名 - おんなじおんなじスタンプラリー 100名 - リレーおはなし会 30名 - きらきら号に乗ってさわって体験しよう 85名 - としょかんシネマスペシャル 38名 - POPアップカードをつくろう 26名 - 本にフィルムをはってみよう 12名 - スタンプラリー 100名 - 青空図書館 自由参加 ・7/1～10/1【図書館主催】2025 POP コンテスト 応募42点 大賞3点 ・7/1～8/3【共催】被爆80年まううら平和のつどい 原爆パネル展 72名 ・7/15～8/1【共催】松浦市文化会館×としょかん

項 目		評価	活動内容等
			コラボ企画 「人形劇 ふしぎ駄菓子屋銭天堂 スタンプラリー」 104 名 ・7/26【家読活動推進事業】おとまり読書会 i n としょかん 2025 19 名 ・8/3【共催】被爆 80 年まつうら平和のつどい 122 名 ・8/10【家読活動推進事業】まめ本づくり 14 名 ・9/14【第 40 回国民文化祭、第 25 回全国障害者 芸術・文化祭松浦市実行委員会主催】ながさきピ ース文化祭 2025 松浦みんなの作品展（障害者 交流事業）読書バリアフリー体験（1 回目） 120 名 ・9/21【多文化サービス】「やさしい日本語」に よる自転車の交通ルールの講習会 19 名（うち 外国人 14 名） ・9/28【第 40 回国民文化祭、第 25 回全国障害者 芸術・文化祭松浦市実行委員会主催】ながさきピ ース文化祭 2025 松浦郷土芸能共演会（障害者 交流事業）読書バリアフリー体験（2 回目） 250 名 ・秋の読書週間イベント 10/28～11/9 - 松浦のおさかなカードつり 84 名 - ブックビンゴ 64 名 - 本活 自由参加 - サロイズ P 写真展 自由参加 - 利用者カードお直し会 4 名 - 折り紙で作ったツリー配布 110 名 - 本にフィルムをはろう！ 2 名 - なつかしの世界名作シネマスペシャル 21 名 - リレーおはなし会 7 名 ・11/3【松浦こども博実行委員会主催】2025 松浦 こども博 387 名 ・11/8【松浦市、松浦市教育委員会主催】木育 キャラバン in 松浦 69 名 ・11/9【家読活動推進事業】オリジナル手帳を 作ろう！ 20 名 ・12/23【協同】クリスマスコンサート 5 名 ・2/21【松浦市文化財課共催】鷹島歴史探訪バス ツアー 14 名 ・3/15【家読活動推進事業講演会】 海堂尊が紡ぐ 世界 80 名 ・3/20【多文化サービス】モンゴルのおはなし 13 名

項 目		評価	活動内容等
			・としょかんシネマ（毎月実施）延べ 136 人 ・特設コーナーの展開（毎月） ・企画展示コーナーの展開（毎月） ・行政連携コーナーの展開（毎月） ○小・中学校の図書館担当職員との連携強化 ・小中学校への団体貸出や図書館イベントの周知 ○移動図書館車によるサービス ・移動図書館車における貸出冊数 31,594 冊 ○まちづくり、情報発信機能としての図書館サービスの充実 【市立図書館】 ・すきスキだーいすき事業（子育て・こども課との連携事業）12 回 85 人 ・出前講座（まつうら出前講座行政編『絵本の読み聞かせ』） 9/26 志佐中学校 ・読書活動推進計画啓発活動 ・西九州させば広域都市圏図書館相互スキルアップ事業加入（相互利用サービス、相互レベルアップサービス） ○図書館活動への理解や教育活動支援のための職場体験や研修活動、見学の受入 【市立図書館】 ・職場体験 - 志佐中学校職場体験 1 人 - 御厨中学校職場体験 1 人 - 調川中学校職場体験 1 人 ・研修 - 公立学校職員社会体験研修（今福小学校）1 人 - 公立学校職員社会体験研修（御厨小学校）1 人 - 公立学校職員社会体験研修（志佐小学校）1 人 - 公共機関インターンシップ（松浦高等学校）1 人 ・見学 - 御厨小学校 2 年生 27 人 - 志佐小学校 2 年生 64 人 - 調川小学校 2 年生 9 人 - 鷹島小学校 2 年生 6 人 - 上志佐小学校 1・2 年生 12 人 - 星鹿保育園 年長組 12 人 【福島図書館】 実績なし

項 目	評価	活動内容等
(2) 明るい社会 づくりをめざす 人権・同和教育 の推進	① 人権教育の推進 A	○人権啓発映画上映会を開催し、98 人が参加した。
(3) たくましさ・ やさしさをもつ 青少年の育成	① 学校・家庭・地域 の連携強化 A	○上志佐小学校区、福島養源小学校・福島中学校区、鷹島小・中学校区、調川小・中学校区、今福小・中学校区において地域学校協働活動推進員各 1 人を委嘱した。 ○市青少年健全育成連絡協議会、各地区青少年健全育成組織、市少年センター補導委員連絡協議会、市 P T A 連合会への支援（補助金交付）を行った。 ○子ども会員への全国子ども会安全共済会への加入奨励、加入手続（補助金交付）を行った。 ○市青少年健全育成連絡協議会、市子ども会育成会連絡協議会、市少年センター補導委員連絡協議会の事務局業務を担った。 ○少年センター運営協議会を 1 回開催した。 ○少年センターにおいて、青少年に関する 44 件の相談に応じ、解決に向けて学校、家庭、地域、関係機関（警察、子育て・こども課等）と連携した。 ○少年センターにおいて、子どもたちへの声かけ、補導（青色回転灯装備車（少年センター専用車）によるパトロールを含む。）を、警察、少年補導委員（37 人）、市青少年健全育成連絡協議会等と連携して実施した。 ○少年センターだよりを毎月発行した。（市ホームページにも掲載） ○市内 9 地区全ての地区青少年健全育成組織にココロねっこ推進員 1 人を、市青少年健全育成連絡協議会にココロねっこ指導員 4 人をそれぞれ配置した。 ○青少年健全育成指導者研修会（兼 ココロねっこ指導員講習会）を開催した。 ○7 月、11 月の 2 回、有害図書等に関する立入調査を実施した。 ○白ポストを 2 か所（志佐、今福）に設置し、有害図書等を回収した。 ○メディア安全指導員の派遣要請はなかった。
	② 家庭教育の支援 A	○市立公民館（8 館）の一部、市立図書館（2 館）の一部の主催講座・連携講座として、読み聞かせを開催した。 ○ながさきファミリープログラムファシリテーターを 1 回派遣した。

項 目		評価	活動内容等
	③ 放課後の子どもの居場所づくりの推進	A	○各公民館の主催講座として、全ての公民館において、地域子ども教室をのべ52回開催し、のべ905人が参加した。 ○放課後児童クラブ（学童保育）のスペースとして、上志佐公民館の一室を供用した。
(4) 健康で活力のある市民を育てるスポーツの推進	① スポーツ施設の整備	A	○スポーツ施設（スポーツセンター、市民運動公園、武道館、野球場、福島総合運動公園、鷹島総合運動公園、鷹島スポーツ・文化交流センター、地域運動場（2か所）、上志佐小学校夜間照明施設、旧学校体育館（4館））の適切な管理運営に努め、必要な事業（工事、修繕、委託等）を実施した。 主なもの ・都市型スポーツ施設 測量・設計業務委託 ・福島体育館ステージ幕取替修繕
	② スポーツ・レクリエーション事業の充実	A	○各種スポーツ大会、行事を開催した。 ・第20回市民体育大会 11競技、998人参加 ・第76回県民体育大会 10競技、211人参加 ・令和7年度都市対抗県下一周駅伝大会 26人参加 ・武道始め式 40人参加 ・第21回市民駅伝大会 40チーム、430人参加 ・第9回なぎなた青島錬成会 ・プロスポーツクラブ長崎自治体連携事業 V-DREAMプロスポーツ選手派遣事業 10/6 青島小、Vファーレン長崎 10/7 調川小、長崎ヴェルカ ○屋内施設利用者数（文化会館を除く。） 55,958人 ○屋外施設利用者数 60,240人
	③ スポーツ指導者の育成	A	○ニュースポーツに関する出前講座を、スポーツ推進委員（総員34人のうち）により27回開催した。
	④ スポーツ・レクリエーション活動の支援	A	○市スポーツ協会、福島町一周駅伝大会実行委員会、県下一周駅伝大会、同大会出場チームへの支援（補助金交付）を行った。 ○文化・スポーツ振興基金事業補助金（スポーツ部門）を39件交付した。 ○文化・スポーツ功労表彰（スポーツ部門）を16個人、1団体に対し行った。 ○市スポーツ協会、市スポーツ少年団、市スポーツ推進委員協議会の事務局業務を担った。

6 文化財の推進に関する事務

項	目	評価	活動内容等
(1)文化財保存活用 地域計画の推進	①文化財の調査研究	A	【調査研究】 ○鷹島海底遺跡調査指導委員会及び保存処理専門部会を開催し、遺物の保存処理等で意見と指導を受けた。 ○鷹島海底遺跡現況確認調査を2回実施し、鷹島1号、2号沈没船が保全されていることを確認した。 ○鷹島海底遺跡発掘踏査を実施した。鷹島3号沈没船の全容解明には至らなかったが、当時の船体構造を推し量るうえで貴重な資料となる竜骨(キール)を確認した。 ○研究等において相互協力することを目的とし、モンゴル国科学アカデミー考古学研究所及びカラコルム国立博物館と市立水中考古学研究センターが連携協定を締結した。 ○六地藏塔を中心に現況調査を実施し、指定に向けた候補リストを作成した。 ○松浦市文化財調査報告書第16集『松浦市鷹島海底遺跡―令和2年度から令和6年度までの調査成果―』調査報告書を刊行した。 ○文化財保存活用地域計画推進協議会を設置し、1期における取組状況の確認を行った。
	②文化財の保存	A	【保存修復】 ○『国史跡鷹島神崎遺跡保存管理計画書』における中期(10年)目標へ向けた取組を実施した。 ○市指定無形民俗文化財「田ノ平浮立」、「松山田浮立」の道具の保存管理状況を確認した。 ○企業版ふるさと納税を活用し、木製いかりの展示ケースを整備した。 ○鷹島海底遺跡出土遺物の保存処理を実施し、木製品等の強化処理を行った。 【継承支援】 ○文化財登録制度に係る条例制定改正の準備を進めた。 ○市指定無形民俗文化財の継承及び公開に努めるため保存会等へ助成を行い保存・継承に努めた。 ○各保存団体等へアンケートを実施し、現況把握に努めた。 ○市指定無形民俗文化財「松山田浮立」、「田ノ平浮立」、「牟田ジャンガラ」を映像で記録した。 【防犯・防災】 ○国指定史跡鷹島神崎遺跡防犯・防災パトロールを実施した(3/27)。

項 目	評価	活動内容等
③文化財の活用	A	【公開・発信】 ○「全国各地の魅力的な文化財活用推進事業」を活用し Instagram のフォロワーを増加させた。 ○SNSを活用し、埋蔵文化財センターの活動情報等を発信した(計 100 件以上)。 ○埋蔵文化財センターにおいて企画展を2回開催した。 ・「射る・投げる・爆ぜる ― 飛び道具の登場と発展―」 ・「令和7年度鷹島海底遺跡発掘調査成果報告展」 ○國學院大學池田教授を講師に迎え「令和7年度鷹島海底遺跡発掘調査成果報告会」を開催した(12/6) ○鷹島海底遺跡発掘調査に併せて、現地研修会を開催し 11 人(潜水調査 6 人、船上視察 5 人)が参加した(10/5～6)。 ○博物館等の展示に資料(遺物等)の貸出しを行った。 ・九州国立博物館平常展(常設) ・福岡市博物館常設展示 ・福井洞窟ミュージアム常設展示 ・長崎県美術館「皇室の名宝と長崎 ― 皇居三の丸尚蔵館収蔵費品展―」(9/14～10/19) ○各種講演等に職員を派遣した。 ・長崎県教育委員会 講演会・シンポジウム「蒙古襲来絵詞と水中考古学」(9/20) ○鷹島海底遺跡発掘調査の状況を、パネル等を用いて公開した(水軍まつり、鷹島モンゴルまつり、鷹島公民館まつり、市立図書館)。 ○市内外へのイベントへ出展し PR を行った。 ・ながさきピース文化祭みんなの作品展(9/13～14) ・水軍まつり(10/25～26) ○長崎県及び長崎県議会に対し「鷹島神崎遺跡の保存と活用について」と題し、研究機関の設置等について要望した(6/2)。 ○埋蔵文化財センターの入館者数は、4,683 人(対前年度比△2.82%)であった。 【学校教育・生涯学習】 ○体験学習会等各種講座を実施した。 ・埋蔵文化財センター体験学習(志佐中、鷹島中、御厨小、星鹿小、今福小、福島養源小) ・出前講座(御厨中、調川小、教職員等初任者研修、劇団 HAGUMI、松浦文化協会) ・鷹島小学校「水中考古学クラブ」 ・埋文センター職場体験(鷹島中2年生) ○夏休みワークショップ「てつはう」をつくる！を開催した

項 目		評価	活動内容等
			(8/2)。 ○青銅製品の複製品を製作し体験学習に活用した。 ○市立図書館と連携し歴史探訪バスツアーを実施した(2/21)。 【観光振興】 ○「全国各地の魅力的な文化財活用推進事業」の採択を受け、文化観光課と連携し文化財を活かした観光コンテンツの造成に取り組んだ。 ・サイクリングコースの造成 ・親子向け観光プログラムの販売開始 ・元寇グッズの販売展開 ・埋蔵文化財センターリーフレットの多言語化 ・VR システムの多言語化 【地域まちづくり】 ○元寇所縁のネットワーク関連事業を実施した。 ・ながさきピース文化祭と併せ、元寇所縁の子どもサミットを開催した(11/19)。 ・首長会議、エクスカーションを松浦市で開催した(11/19)。 ・元寇所縁の自治体周遊パネル展を加入自治体持ち回りで開催した(9/4～11/18)。 ・元寇カード(松浦市第2弾など3種追加)を作成した。 ・歴史探求ラジオ「いま、元寇を知る」の制作・放送を行った。 ○ながさきピース文化祭の事業として、「21 世紀の歴史の中で『元寇』を考える高校生会議」を実施した(11/15～16)。 ○県指定史跡「松浦党梶谷城跡」景観対策事業として維持管理業務を実施した。